

令和3年度

壬生町下水道事業会計補正予算  
(第1号)

栃木県下都賀郡壬生町



## 令和3年度壬生町下水道事業会計補正予算（第1号）

（総 則）

第1条 令和3年度壬生町下水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出の補正）

第2条 予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
支 出			
第1款 下水道事業費用	1,401,045千円	13,478千円	1,414,523千円
第1項 営業費用	1,276,100千円	13,478千円	1,289,578千円

（資本的収入及び支出の補正）

第3条 予算第4条本文括弧書を「（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額546,370千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額36,049千円、当年度分損益勘定留保資金248,569千円、繰越利益剰余金処分量80,369千円、当年度利益剰余金処分量181,383千円で補てんするものとする。）」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
支 出			
第1款 資本的支出	1,392,779千円	△4,230千円	1,388,549千円
第1項 建設改良費	856,532千円	△4,230千円	852,302千円

（議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正）

第4条 予算第10条に定めた経費の金額を次のように改める。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
（1）職員給与費	83,877千円	2,562千円	86,439千円

（利益剰余金の処分の補正）

第5条 予算第12条を次のように改める。

繰越利益剰余金のうち80,369千円及び当年度利益剰余金のうち181,383千円は、次のとおり処分するものと定める。

（1）資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額の補てん	261,752千円
-------------------------------	-----------

令和3年9月1日提出

壬生町長 小 菅 一 弥



# 下水道事業会計補正予算に関する説明書



**令和3年度壬生町下水道事業会計補正予算実施計画**

**令和3年度壬生町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書**

**令和3年度壬生町下水道事業予定貸借対照表**

**注 記 表**

## 令和3年度壬生町下水道事業補正予算実施計画

### 収益的収入及び支出

(単位：千円)

支 出	款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	
1	下水道事業 費用	1		1,401,045	13,478	1,414,523	
				1,276,100	13,478	1,289,578	
			1	管渠費	38,717	603	39,320
			3	処理場費	300,422	7,263	307,685
			4	水質規制費	7,681	1,850	9,531
			5	総係費	77,278	3,762	81,040

### 資本的収入及び支出

(単位：千円)

支 出	款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1	資本的支出	1		1,392,779	△4,230	1,388,549
				856,532	△4,230	852,302
			4	事務費	35,270	△4,230



# 令和3年度壬生町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

1. 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	181,383,295
減価償却費	753,867,701
固定資産除却費	4,543,637
賞与等引当金の増減額 (△は減少)	△476,741
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,637,991
長期前受金戻入額	△392,234,142
受取利息及び受取配当金	△1,000
支払利息	121,569,970
未収金の増減額 (△は増加)	△11,694,244
未払金の増減額 (△は減少)	8,253,363
その他流動資産の増減額 (△は増加)	1,176
その他流動負債の増減額 (△は減少)	<u>△300,000</u>
小計	667,551,006
利息及び配当金の受取額	1,000
利息の支払額	<u>△121,569,970</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	545,982,036
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△921,074,687
無形固定資産の取得による支出	△12,293,324
国庫補助金等による収入	405,290,017
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	33,824,544
受益者負担金及び受益者分担金による収入	<u>4,831,817</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△489,421,633
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	485,452,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△536,217,273</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,765,273
資金増加額 (又は減少額)	5,795,130
資金期首残高	<u>119,658,024</u>
資金期末残高	125,453,154

# 令和3年度壬生町下水道事業予定貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位：円)

## 資産の部

1	固定資産		
	(1) 有形固定資産		
	イ 土地	435,873,941	
	ロ 建物	860,800,349	
	減価償却累計額	<u>△355,316,142</u>	505,484,207
	ハ 構築物	32,467,737,832	
	減価償却累計額	<u>△13,472,137,042</u>	18,995,600,790
	ニ 機械及び装置	5,888,455,228	
	減価償却累計額	<u>△3,874,673,462</u>	2,013,781,766
	ホ 車両運搬具	3,508,916	
	減価償却累計額	<u>△2,935,970</u>	572,946
	ヘ 工具、器具及び備品	27,441,439	
	減価償却累計額	<u>△24,796,025</u>	2,645,414
	ト 建設仮勘定	<u>709,902,536</u>	
	有形固定資産合計		22,663,861,600
	(2) 無形固定資産		
	イ 施設利用権	455,174,709	
	無形固定資産合計		<u>455,174,709</u>
	固定資産合計		23,119,036,309
2	流動資産		
	(1) 現金預金	125,453,154	
	(2) 未収金	150,288,308	
	貸倒引当金	<u>△5,253,221</u>	145,035,087
	流動資産合計		<u>270,488,241</u>
	資産合計		<u><u>23,389,524,550</u></u>

## 負 債 の 部

3	固定負債		
	(1) 企業債		
	イ 建設改良費等に 充てるための企業債	<u>6,835,049,475</u>	
	企業債合計		<u>6,835,049,475</u>
	固定負債合計		6,835,049,475
4	流動負債		
	(1) 企業債		
	イ 建設改良費等に 充てるための企業債	<u>516,386,237</u>	
	企業債合計		516,386,237
	(2) 未払金		237,816,617
	(3) 引当金		
	イ 賞与等引当金	<u>6,242,125</u>	
	引当金合計		6,242,125
	(4) その他流動負債	<u>2,466,857</u>	
	流動負債合計		762,911,836
5	繰延収益		
	(1) 長期前受金		21,284,561,302
	(2) 収益化累計額	<u>△9,926,339,157</u>	
	繰延収益合計		<u>11,358,222,145</u>
	負債合計		<u>18,956,183,456</u>

## 資 本 の 部

6	資本金		3,801,828,469
7	剰余金		
	(1) 資本剰余金		
	イ 補助金	216,494,944	
	ロ 受贈財産評価額	6,269,000	
	ハ 負担金	<u>1,989,732</u>	
	資本剰余金合計		224,753,676
	(2) 利益剰余金		
	イ 当年度未処分 利益剰余金	<u>406,758,949</u>	
	利益剰余金合計		<u>406,758,949</u>
	剰余金合計		<u>631,512,625</u>
	資本合計		<u>4,433,341,094</u>
	負債資本合計		<u>23,389,524,550</u>

## 注 記 表

### 1 重要な会計方針に係る事項

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

##### ア 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

建物 8～50年

構築物 35～50年

機械及び装置 6～30年

工具、器具及び備品 4～20年

車両運搬具 4～5年

##### イ 無形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

施設利用権 45年

#### (2) 引当金の計上方法

##### ア 退職給付引当金

退職手当の支給については、栃木県市町村総合事務組合で共同処理しており、下水道事業からも定期的な負担金を拠出している。また、それ以外の追加費用については、発生の見込みがないため、退職給付引当金は計上していない。

##### イ 賞与等引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及びそれらに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

##### ウ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不納見込額を計上している。

#### (3) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

### 2 予定貸借対照表等関連

#### (1) 引当金の取崩し

##### ア 賞与等引当金の取崩し

令和3年度において、期末手当、勤勉手当及びそれらに係る法定福利費として19,583千円を支給するため、賞与等引当金7,714千円を取り崩す予定である。

##### イ 貸倒引当金の取崩し

令和3年度において、債権の不納欠損による損失に対し、貸倒引当金272千円を取り崩す予定である。

### 3 セグメント情報

#### (1) 報告セグメントの概要

下水道事業会計は、公共下水道事業及び農業集落排水事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、これらの2つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	主に市街地における、し尿・生活雑排水等の処理及び雨水排除
農業集落排水事業	農業集落における、し尿・生活雑排水等の処理

#### (2) 報告セグメントごとの営業収益等

令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日）

（単位：千円）

	公共下水道事業	農業集落排水事業	合 計
営業収益	504,654	64,882	569,536
営業費用	951,037	297,446	1,248,483
営業損益	△ 446,383	△ 232,564	△ 678,947
経常損益	80,006	102,060	182,066
セグメント資産	15,551,696	7,837,829	23,389,525
セグメント負債	12,499,436	6,456,747	18,956,183
その他の項目			
他会計繰入金	357,870	305,315	663,185
減価償却費	542,294	211,574	753,868
特別利益	0	0	0
特別損失	655	27	682
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	593,757	339,611	933,368